

千葉県立博物館の事業に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27)	下段:目標値(H27)	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	28年度実績	4件	3	A	
					館設定の目標	5件			
			2	資料の情報化・公開実績	28年度実績	100点	4		
					前年度実績	100点			
			3						
			4	館外貸出(外部機関等展示等)	28年度実績	33件	4		
		前年度実績			26件				
		28年度実績			16件	4			
		5	館内利用(学術調査等)	前年度実績	13件				
				6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	28年度実績	28件	4	
		前年度実績	14件						
		7	調査事業件数	件数	28年度実績	9件	4		
					前年度実績	7件			
					28年度実績			A	
		8	共同調査事業件数	件数	前年度実績				
9	研究成果の公開状況				論文研究報告	28年度実績	1件	4	
		前年度実績	1件						
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	館の体制や性格上、調査研究事業を行うのは難しい状況である。日々の体験や来館者の対応を優先して。								
有識者コメント	収蔵資料のリストはなるべく全部公開し、動画は貸し出し条件を明確に示した方がよい。共同調査事業は、現実的には難しいと思うが、次年度からは目標値を1に設定し、積極的に取り組んでどうか。								

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値(H27)	下段:目標値(H27)	値の説明				数値	
Ⅱ	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	28年度実績	239,902人	4	A	
						前年度実績	259,510人			
			2	企画展(事業名) 炭と暮らす	入館者数	28年度実績	48,367人	4		
						前年度実績	51,177人			
			3	企画展(事業名) 出土遺物公開展	入館者数	28年度実績	84,911人	4		
						前年度実績	60,045人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	28年度実績	1回	4	A	
						前年度実績	1回			
			5	企画展(事業名) 炭と暮らす	実施回数	28年度実績	1回	4		
前年度実績	1回									
6	トピックス展等	実施回数	28年度実績	3回	4					
			前年度実績	3回						
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	28年度実績	98%	3	B			
				〇〇年度実績						
				〇〇年度実績						
大項目Ⅱの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	企画展「炭と暮らす」は、少し昔の身近な暮らしを取り上げて、好評であった。なお、企画展示の入館者数については、房総のむら全体の入館者数をカウントしている。									
有識者コメント	企画展の評価は、内容が異なるので、単に入場者数で比べるのは難しい。「炭と暮らす」は、「昔の暮らしを知る」を学ぶ小学校3・4年生には良い企画であった。フィールド型の博物館の性格上、入館者数に天候の影響が大きいのは仕方がない。企画展は、地に足の着いた企画で高く評価できる。									
Ⅲ	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	28年度実績	90%	4	A	目標はH27年度実績の90%
						館設定28年度の目標	90%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	28年度実績				
						前年度実績				
大項目Ⅲの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	外部資金は導入していないが、今後の検討課題の一つとしている。									
有識者コメント	65歳以上・小中学生が無料、割引も多いので、入場料が伸び悩むのは仕方がない。昨今、博物館へ関心を寄せる高齢者の割合がますます高まっており、入館者が増えても入場料が減少することもあり得るだろう。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27) 下段:目標値(H27)]		値の説明	数値				
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	28年度実績	32回	4	B	28年4月からスマホにもHPを開設。但し、アクセスのカウントは12月～3月
						前年度実績	26回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	28年度実績	171,563件	2		
						前年度実績	244,361件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	28年度実績	22件	4		
						前年度実績	22件			
大項目IVの総合評価(A～D)							B			
博物館コメント	HPへのアクセス数は、季節による大きな変動なく、コンスタントに多い。特に、桜の季節やまつりの前後に積極的なアクセスが見える。なお、アクセス数が昨年度に比べて大幅に減少したのは、スマートフォン専用のHPを別に設定したため、アクセスがスマートフォンのHPに移行したことに拠る。									
有識者コメント	アクセス数はアップ数に比例するので、更新手続きを簡素にして、更新は毎日を目標に。									
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	28年度実績	395校	3	B	
						前年度実績	458校			
			2	入館者数	28年度実績	28,987人	4			
					前年度実績	28,582人				
			3	生徒・児童	入館者数	28年度実績	29,270人	4		
		前年度実績				25,933人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	28年度実績	2校	2			
					前年度実績	2校				
		5	利用者数	28年度実績	74人	3				
				前年度実績	92人					
地域関係団体との連携	6	団体数	28年度実績	23団体	3					
			前年度実績	24団体						
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	28年度実績	23回	4				
				前年度実績	21回					
	8	利用者数	28年度実績		A					
前年度実績										
9	友の会活動	利用人数	28年度実績	56人	4					
			前年度実績	56人						
10	ボランティア活動	活動延人数	28年度実績	1,504人	4					
			前年度実績	1,303人						
大項目Vの総合評価(A～D)							A			
博物館コメント	学校団体利用は、定評があり、定着している。地域連携についても定番の行事があり、一定の効果を上げているが、友の会の活動は停滞しており、見直しが必要な状況である。一方、ボランティア活動は、退職者を中心に年々参加者が増え、活性化している。									
有識者コメント	この項目は相手のあることだが、特に学校団体利用は、学校数が減少している割には健闘している。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値(H27)	下段:目標値(H27)	値の説明				数値	
VI	教育・普及活動	来館状況	1	考古学講座	参加者数	28年度実績	236人	4	A	
						前年度実績	155人			
			2	講座	大道芸入門	参加者数	28年度実績	406人		4
							前年度実績	360人		
			3							
			4	出張体験	参加者数	28年度実績	1,486人	4		
						前年度実績	734人			
			5	体験教室	団体体験	参加者数	28年度実績	17,604人		3
		前年度実績					18,399人			
		6	ガイドツアー	参加者数	28年度実績	207人	3			
					前年度実績	228人				
		7	ワークシートを利用した「むら探検」	参加者数	28年度実績	22,900人	4	A		
					前年度実績	22,737人				
		8	体験	参加者数	28年度実績	132,233人	4			
					館設定〇〇年度の目標	119,951人				
		総合的な満足度	講座	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績					
					〇〇年度実績					
〇〇年度実績										
13	体験教室				勾玉作り 畳のコースター	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合				
						〇〇年度実績				
14						〇〇年度実績				
15					満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績				
		〇〇年度実績								
17	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	28年度実績	381件	4	A				
			館設定の28年度の目標	350件						
大項目VIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	一般の体験や講座では、所要時間がそれぞれ異なるため、個別のアンケートを実施していない。館全体の印象や感想についてアンケートを実施し、取り組みの評価や今後の課題の参考にしている。									
有識者コメント	出張体験は、出前授業とイベントの出展を分けて記録した方がよいのではないか。相談件数には、問い合わせのほかにもクレームが含まれる場合もあるので、ここでは利用に関する問い合わせに限定してはどうか。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値(H27) 下段:目標値(H27)]	値の説明	数値			
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	28年度実績	9人	4	A
					前年度実績	7人		
			2	教員等の研修	28年度実績	11人	2	
					前年度実績	15人		
			3	職場体験	28年度実績	26人	4	
					前年度実績	14人		
			4	インターンシップ	28年度実績	7人	4	
					前年度実績	5人		
		5	研修会の開催	実施回数	28年度実績	10回	3	
					前年度実績	12回		
		6	防災訓練実施等	実施回数	28年度実績	1回	4	
					前年度実績	1回		
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A		
博物館コメント	実習や研修は依頼先の事情もあり、要請に応じて受け入れている。							
有識者コメント	例年通り、良く取り組んでいる。							

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27) 下段:目標値(H27)]	値の説明	数値				
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	28年度実績	137団体	3	A	
					館設定28年度の目標	150団体			
			2		28年度実績	6,034人	3		
					館設定28年度の目標	7,000人			
			3	外国人来館入込	28年度実績	79団体	4		
					前年度実績	76団体			
			4		28年度実績	6,424人	4		
					前年度実績	5,621人			
大項目Ⅷの総合評価(A~D)						A			
博物館コメント	国内の来館団体は大きな変動なく、外国人の来館者数は数年の状況を見ると増加傾向にある。外国人来館者の対応について、昨年度から4か年計画を立てて取り組んでいる。								
有識者コメント	県立博物館の中でも、特に外国人来館者の対応が進んでいる。								
総合評価(A~D) [各達成度の平均]						A			
総合評価と次年度への対策	体験博物館としての使命は果たしているが、調査研究・展示などの分野をいかに充実させるかが課題である。本来、商家の街並みはその時代の生業を2階で展示し、店先で体験する趣向であり、調査・研究の成果を反映させるという所期の目的を再認識する必要があると思われる。また、平成4年以来、展示内容をほとんど更新していなかった風土記の丘資料館の展示については、平成30年度の展示リニューアルを計画して準備を進めている。なお、達成度と内容の評価は必ずしも一致していない。								

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	体験型博物館として、意欲的に良く取り組んでいる。志として、体験の幅を広げることを目標にして欲しい。家族連れが、楽しそうに体験しているのをよく見かけた。職員の指導が非常に丁寧で、体験者の力量や年齢に応じて対応している。好感度の高い博物館である。
-------------	---

【博物館記入】

意見への対応	体験型博物館としての機能は充分果たしているという評価をいただいたと思う。一方、30年経過して少しマンネリ化してきたことも否めない。改めて、職員の志気を高めるような工夫が必要だと感じた。
--------	--